



杉山たかのり ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 Tel.35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 Tel・Fax35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ・ツイッター「杉山たかのり」フェイスブック「杉山孝教」で検索を

建設常任委員会視察（10月29日～31日）

静岡市・吉川市・葛飾区・千葉市

西宮市議会建設常任委員会（委員長・和田とよじ、副委員長・杉山たかのり）は、10月29日から2泊3日で管外視察を行い、4自治体を訪問しました。

静岡県静岡市

静岡市では、清水区の和田島浄水場を視察。西宮市でも水道の需要水量が急速に減少する下で約93%を阪神水道・県水道から購入しており、浄水場の規模の縮小が課題となっています。和田島浄水場は、膜ろ過処理を採用しており、急速ろ過（丸山浄水場で採用）のように沈でん池や急速ろ過池が不要で狭い敷地でも整備ができ、水の露出がないため常勤職員を配置せず、全体として低コストで、一日10000 m³の処理ができます。西宮でも検討の価値があると思います。なお、右写真の徳利のような建物は配水池で「愛泉蔵」と名付けられ親しまれています。



埼玉県吉川市



2012年3月に開業したJR吉川美南駅を視察。西宮市でも今、武庫川に阪急電車の新駅設置の要望が強まっていることから、「請願駅」である吉川美南駅設置の経緯等を調査することとしました。吉川市では、もともと武蔵野操車場跡地を活用した新たな開発（当初1000ha）が検討されており、JR東日本への新駅設置要望の提出から8年足らずで開業の運

びとなっています。請願駅の問題は、自治体が設置費用の多くを負担するところにあるのですが、施設設置費用約 67 億円のうち約 42 億円を市が負担。ただし、国から補助金 3 億円、鉄道運輸機構が 29 億円負担（新駅周辺の区画整理による地価上昇による含み益が原資）するなど、市の実質的負担はかなり軽減されています。その点では、仮に阪急新駅設置となった場合の市負担がどうなるのかが、駅設置するかどうかの判断基準のウェートを占めることになります。

東京都葛飾区

アサヒビール跡地を地区計画でまちづくりをすすめるという西宮市の方針から、三菱製紙中川工場跡地を含む約 33ha の新宿（にいじゅく）六丁目地区まちづくり方針の説明を受けました。広大な土地のため、高層住宅や都市型工場を含むものの、文化教育ゾーン、都市計画公園を中心に、東京理科大学のキャンパスと図書館が誘致され、都市部に見られるような乱開発は一定規制されたまちづくりになっているのではないかと思います。区が購入した土地の価格は坪 120 万円以上で、自治体の負担が大きすぎるようです。



千葉県千葉市

千葉市のプレーパーク、子どもたちの森公園を視察。プレーパークとは、子どもたちが「自分の責任で自由に遊ぶ」と、大人が子どもたちの遊びを見守る場で、西宮でもキッズパークがあります。ここでは、火を使ったり工作したりと、公園で禁止されていることも、プレーリーダーの援助でできます。ハードよりソフトが大切で、プレーリーダーの養成が鍵です。西宮でもプレーパークを増やせればと思いますが、団体や人の養成が必要です。お金もいりますね。（職員随行がなくなったため、写真撮影は杉山副委員長が担当しました。）



9月議会 決算特別委員会 建設分科会 委員の質疑なし？

常任委員会での質疑は一般的に、まず委員、次に副委員長、最後に委員長が行います。決算の分科会も同様です。ところが建設分科会3日間すべて、最初に質疑をしたのは副委員長の杉山議員。当局説明の後、委員長が質疑を促しても委員からは誰ひとり手が上がらず、杉山議員が口火を切って質疑を行うという異常事態。質疑の準備をしていないことが原因だと思われます。以前、建設委員会の傍聴に来られた方が「杉山議員でもってますね」と言われたことがあります、これが議会の実態の一つです。